

鳥 取 会 報

第 13 号

2005年 8月



鳥 取 市 福 部 町 の ら っ き ょ う 畑

目 次	ごあいさつ	2	平成17年度シニアワークプログラム事業実施計画	13
	連合会役職員の異動	3	健康シリーズ⑬	14
	平成16年度通常理事会・総会開催	4	シルバー人材センターの紹介	15~16
	平成16年度事業実施状況	4~5	会員の広場・講習に参加して	17~20
	平成17年度事業計画	6~8	連合会新役員の紹介	21
	平成17年度事業実施状況	9~11	県内シルバー人材センター設置状況	21
	平成16年度シニアワークプログラム事業実施状況	12		

社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

「ごあいさつ」

就任にあたり



鳥取県シルバー人材センター連合会

会長 宇野 治 巳

この度の総会におきまして、皆様方のご推薦によりまして社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会長に就任いたしました。

シルバー人材センターでは、すでに四半世紀以上にわたって、できるだけ多くの高齢者が運動の理念である「福祉の受け手から社会の担い手へ」となることを目指し、また、福祉・家事援助サービス憲章を制定し、「さしのべよう福祉の手と心」を忠実に実践し、今日まで活動を続けてきたところであります。現在、県下の会員数は約四六〇〇人で、地域環境の美化や福祉・家事援助サービスなど、地域住民の生活の下支えとなるための事業活動を行っています。会員である高齢者が「働く」ことを通して健康で生きがいのある高齢期を過ごし、介護・医療等の社会保障費の軽減にも大きく貢献しているところでありま

す。定年は職業人生のゴールではなく、新しい自分を発見する転機と、とらえるべきであるといわれてきました。高齢者が自主的に第二の現役として「生きがい」を持って暮らすことのできる社会環境にしていくことが、社会全体からも強く求められています。

このたび県下市町村の合併により、三月末日には二〇市町村となりました。シルバー人材センターにおいても市町村合併により、法人センター十一団体・小規模センター五団体となり、県下十九市町村をエリアとして事業を実施しています。しかし、事業のより広域的な運営や会員の就業圏の拡大など、今までにない新たな対応が必要となっておりました。現行制度を踏まえ、シルバー再編後の業務体制の整備と見直しが必要の課題となっております。

今後加速する少子高齢化の中で、多様化し急増するシルバー人材センター事業に対するニーズに的確に応え、新しい時代にふさわしい機能強化を図っていかねばならない重要な時期であると承知しています。

甚だ微力ではございますが、このような事業を実現させるため幅広い業務を推進し、「全員参加社会」の実現にむけて職責を果たしたいと考えております。関係者皆様の格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

就任のごあいさつ



鳥取労働局職業安定部長

田村 和美

四月一日付けで職業安定部長を拝命いたしました。よろしくお願い申し上げます。

鳥取県シルバー人材センター連合会並びに各シルバー人材センターの皆様におかれましては、日頃より高齢者の就業支援対策に格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、我が国の六十五歳以上の老年人口は、益々増加することは目に見えているわけでありま。定年後も働き続けたい人、あるいは就業を通じて社会に参加し、生きがいをもつ、そして健康であり続けたいと願う人が圧倒的に多いわけです。

シルバー人材センター事業は、こうした高齢者の方々に、就労機会や社会参加の場を幅広く提供するための総合的な拠点として、その役割は、これまで以上に重要となっております。会員の皆様におかれましては、「自主・自立・共働・共助」の基本理念の下、これまで積み重ねられた実績を基に、取り組みをさらに積極的に進められるよう期待申し上げます。

上げます。

現在、鳥取県においては、シルバー人材センターが設置されていない市町村が、ひとつあります。一日も早く設置が待たれるところですが、県内市町村ごとにシルバー人材センターが組織され、シルバー人材センター事業が県内全域の高齢者の方々に提供できるような可能な限り協力をして行きたいと思っております。

最後に、シルバー人材センターのさらなるご発展と会員の皆様方のご健勝、ご活躍を祈念いたしました。ご挨拶とさせていただきます。

「豊かな知識・
経験を活かして！」



鳥取県商工労働部
労働雇用課長

山本 誠

平成十七年四月から労働雇用課の課長に就任致しました。会員の皆様におかれましては、日ごろからシルバー人材センターの各種事業を通じて、本県の高齢者の方々の生きがいづくりなどに御尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。

シルバー人材センターは、これまで高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりの牽引役となってきました。

鳥取県でも一層の高齢化が進展する状況下において、地域の活力を維持し、発展させていくためには、高齢者の皆様が持つておられる豊かな知識と経験を生かして活躍していただくことがますます必要であります。

そのためには、シルバー人材センターの果たす役割は、今後ますます重要であり、高齢者の皆様が生きがいを持つて暮らすことができ、地域社会にも貢献される各種事業に取り組まれることを今後とも期待しております。

昨年度は、市町村合併を機にシルバー人材センターの合併が進み、県内二十市町村のうち十九市町村に設置されるまでとなり、地域住民にとってはかけがえのない存在となっております。また、法人化も進み着実に運営基盤の強化も図られているところです。

県としましては、高齢者の雇用の促進や生きがいづくりをはじめ、各種労働施策に鋭意取り組んでまいりますので、会員の皆様方により一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

末筆ではございますが、貴連合会及び会員の皆様方の御発展と御活躍を祈念申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

連合会役職員の異動

会長

新任 宇野 治 巳
退任 川口 貞 良

新任

事務局次長

遠藤 堅 一 四月一日付
就業開拓推進員

岡 直 平 四月一日付

ホワイトカラー就業機会開発員

佐々木 富久美 四月一日付

退職

事務局次長

中曾 幸 男 三月三十一日付
就業開拓推進員

山脇 英 世 三月三十一日付

ホワイトカラー就業機会開発員

川内野 節 允 三月三十一日付



平成十六年度 通常理事会・総会開催

理事会

平成十七年三月十五日（火）鳥取市において、平成十六年度第二回通常理事会が開催されました。

審議された議案は次のとおりで、いずれも原案どおり承認されました。

- 第一号議案 新規会員加入について
- 第二号議案 平成十六年度事業計画変更（案）について
- 第三号議案 平成十六年度収支補正予算書（案）について
- 第四号議案 平成十七年度事業計画（案）について
- 第五号議案 平成十七年度収支予算書（案）について
- 第六号議案 理事及び監事候補者選考要綱（細則）の改正（案）について
- その他

通常総会

平成十七年三月二十四日（木）倉吉市において、平成十六年度第二回通常総会が開催されました。



総会は、川口会長のあいさつに続いて議事に入り、議長に（社）南部広域シルバー人材センターの中川正昭理事長を選出。次の議案について審議が行われ、いずれも原案どおり可決承認されました。

第一号議案 平成十六年度事業計画変更（案）について

平成十六年度 事業実施状況

- 第二号議案 平成十六年度収支補正予算書（案）について
- 第三号議案 平成十七年度事業計画（案）について
- 第四号議案 平成十七年度収支予算書（案）について
- 第五号議案 理事及び監事候補者選考要綱（細則）の改正（案）について
- 報告事項 新規会員加入について
- その他

経験交流大会の開催

平成十七年一月二十八日（金）午前十時三十分から倉吉市において、経験交流大会を開催しました。

大会は、県内シルバー人材センターの役員・会員、又各市町村の担当者の方々百十一名の参加のもと、来賓に地元倉吉市の長谷川市長、鳥取県商工労働部中西雇用政策室長のご臨席を賜り、基調講演には滋賀県の（社）栗東市シルバー人材センター前事務局長太田俊雄氏をお迎えし、「会員主導を基盤としたシルバー事業運営をめざして」と題して講演

をいただき盛大に開催することができました。
 また、昼の会間には南部広域シルバー職員
 さんによる「パラパラ笠踊り」が披露され、
 会場が一段と盛り上がりました。
 午後は県内三センターから、次の事例発表
 があり、



- ・「ゴミ有料化に伴う取り組みについて」
 (社) 境港市シルバー人材センター
 事務局長 松井祐三氏
- ・「シルバー人材センターの統合と広域化
 による事業運営について」
 (社) 鳥取市シルバー人材センター
 事務局長 村上寿一氏

- ・「事務局長七年の経験から」
 (社) 南部広域シルバー人材センター
 事務局長 田子貢氏
- 引き続き、基調講演、事例発表に対して、
 活発な質疑応答・意見交換が行われ盛会のう
 ちに閉会しました。

福祉家事援助サービ 事業視察研修会開催

平成十七年二月二十五日(金)各センター
 の担当職員を対象として福祉家事援助サービ
 ス事業視察研修会を開催しました。参加者二
 十名で、岡山県の(社)井原市シルバー人材
 センターを視察し、今後の事業展開に当たっ
 て有意義な研修となりました。

第二回安全就業 推進委員会開催

平成十七年三月十日(木)倉吉市において、
 平成十六年度第二回安全就業推進委員会を開
 催しました。

会議では、連合の安全・適正就業パトロー
 ル指導員から全シ協主催の中央研修会の報告
 と平成十六年度県内センターのパトロール巡
 回指導の実施状況の説明、各出席委員から安
 全就業推進事業の実施状況について報告し、
 意見・情報交換等を行った後、平成十七年度
 に向けた実施計画等を協議しました。

平成十七年度 事業計画

基本計画

急速な高齢者社会が進み、年々、総人口に占める高齢者の割合が増加してきている中で、経済社会の活力を維持・発展させていくためには、高齢者が長年にわたり培ってきた豊かな知識と経験、技能を積極的に生かし、働くことを通じて社会参加し、健康で生き甲斐をもって社会活動に参加し、活力ある社会の実現を目指すことが重要な課題である。

現下の高齢者を取り巻く情勢は、一部企業にやや明るさが見られるというものの雇用情勢は高齢者にとって一段と厳しく、更に年金支給年齢の段階的引き上げ等により雇用就業希望は必然的に増加がみられ、またシルバー事業においては、近年中には団塊の世代会員が急増することが予想される等、高齢者の様々なニーズに応じた雇用・就業開発に加え、ボランティア活動への参加等多様化に対応することが課題となっている。

シルバー人材センターは、定年退職者等高齢者を会員として、地域社会に密着した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な仕事を数多く提供し、高齢者の就業分野を支えている。

今後、高齢化の進展によって、高齢者を取り巻く社会経済環境の変化と共に、派遣労働者も含めた雇用・就業を志向する高齢者が増加する中で、就業のニーズも更に多様化することが予想される。このことから連合会・各活動拠点センターが一体となってシルバー事業発展を目指して取り組みたい。

事業実施計画

一 安全・適正就業推進事業

- (一) シルバー事業の基本である安全就業・適正就業を推進するため次の事業を実施する。
- (二) 安全就業推進委員会の開催(年二回)
- (三) シルバー連合全域の安全就業推進計画を策定し、拠点センター会員が安全に就業できるよう事故防止策の検討を行う。
- (四) 安全・適正就業パトロール員を連合本部に配置する。

拠点センターの安全就業の指導、相談及び助言を行うと共に安全就業推進計画に基づき就業パトロールを実施する。

- (三) 安全就業研修会の開催
- (四) 各センターのリーダー的職員、会員等の研修会を実施し安全意識の高揚を図る。
- (五) 適正就業の徹底
- (六) 各センター会員の適正就業の徹底に努める。

二 普及啓発事業

- (一) 組織拡大に向け、拠点センター会員の充実を図るとともに、シルバー人材センターの趣旨を広く広域社会に浸透させるために次のとおり啓発活動を行う。
- (二) 連合会会報の発行(年二回)
- (三) 連合会の諸行事、拠点シルバーの活動状況等の情報を提供する。
- (四) 普及啓発促進月間(十月)の集中的普及啓発
- (五) 街頭宣伝、各種イベントへの積極的参加
- (六) シルバー祭の開催(一会場)

鳥取県社会福祉協議会主催の「いきいき健康福祉まつり」に参加し、シルバー事業の普及啓発に努める。

- (四) 普及啓発用リーフレットの作成・配付
- (五) 会員用、発注専用の普及啓発のリーフレットを作成配付し、広く周知を図る。

三 就業開拓等事業の推進

拠点センター会員の希望に応じた多様な就業機会を開拓し受注拡大及び広域的な就業需給調整を図るため、次のとおり実施する。

- (一) 就業機会開発推進委員会の開催(年二回)
- (二) 就業開拓推進計画を策定し、目標の設定、具体的方策、実行スケジュール等を立案する。
- (三) 就業開拓推進員の配置
- (四) 就業機会の確保、提供及び県下の広域的

な需給調整を目的として、連合会に開拓推進員を配置する。

(三) **ホワイトカラー就業機会開発員の配置**

連合にホワイトカラー就業機会開発員を配置し、シルバーしごとネット等を活用した、ホワイトカラー職種に係る仕事の確保・提供体制を整備し、市町村の区域を越えた広域地域の需給調整を推進し、ホワイトカラーの就業機会を促進する。

四 交流研修事業

シルバー事業の正しい理解を取得し、事業の充実・発展を期するため役員、会員及び職員を対象として研修会を開催する。

(一) **経験交流大会**

各活動拠点シルバー人材センターが、それぞれの事業運営上直面している課題や問題点について経験交流を通じて、共通認識を培っていく。

(二) **連合役員研修会**

全シ協・中国シ協が実施する研修会に積極的に参加し、専門的知識を習得する。

(三) **センター職員対象実務研修会**

会計経理・税務関係についての研修会の開催

五 無料職業紹介事業

無料の職業紹介事業を実施するセンター間で、取り扱いに差異が生じないように打合会を

開催する。

六 労働者派遣事業

労働者派遣事業実施に向けての検討会議(研修)

七 福祉・家事援助事業

地域社会の高齢化と共に、福祉・家事援助サービス事業は今後ますます需要が増加することが期待される。このため拠点シルバー人材センターが地域社会のニーズに充分対応できるよう情報の提供、指導、助言を行う。

(一) **研修会の開催**

活動拠点のコーディネーター及び関係職員の研修会を実施し充実を図る。

(二) **普及啓発**

福祉・家事援助サービス事業の情報の収集・提供を図る。

八 指導相談事業

全シ協並びに他のシルバー人材センター連合等と情報交換を行って、新規法人シルバー人材センター及び必要拠点センターに対し定期的、随時に巡回指導を行う。

九 高齢者生活援助サービス事業

平成十六年度に引き続き、介護サービスに替わる事業として実施する。
実施シルバー

- (社) 鳥取市シルバー人材センター
- (社) 米子広域シルバー人材センター
- (社) 倉吉市シルバー人材センター

十 高齢者活用子育て支援事業

高齢者に就業機会を確保・提供する一環として、就学前の幼児に対する保育施設からの送迎、世話などの育児支援や、就学児童に対する放課後・土曜学習、生活指導の学習支援等の体制整備を、市町村との連携のもとに実施する。

実施シルバー

- (社) 鳥取市シルバー人材センター
- (社) 米子広域シルバー人材センター
- (社) 倉吉市シルバー人材センター

十一 地域高齢者社会参加促進事業

高齢者の多様な就労・社会参加に関する幅広い支援業務を行う。

実施シルバー

- (社) 米子広域シルバー人材センター

十二 シニアワークプログラム事業

(SP事業)

高齢者の雇用就業機会の確保を目的に、高齢求職者等を対象に、地域の事業主団体等の協力のもとに、雇用を前提とした技能講習、合同面接会等を実施して雇用就業機会の確保を図る。

(一) 啓発事業

県、職業安定機関の協力のもと、事業主団体に対して高齢者の雇用就業について理解を求めるとともに、SP事業への参加・協力を要請する。さらに関係行政機関、事業主団体、活動拠点等の協力のもと、ポスター、リーフレット、パンフレット等を配付しSP事業のPR活動に努める。

(二) 総合的雇用就業情報提供事業

地域高齢者に対して、技能講習の開催案内と募集、職業相談、求人情報の提供を行う。また事業主に対して求人相談・求人開拓、合同面接会の案内及び求職者の情報提供を行う。

(三) 技能講習事業

① 第一種技能講習

- オフィスクリーニング講習 一回
- パソコン講習 四回
- 接客サービス講習 二回
- 塗装講習 一回
- 観光ガイド講習 一回
- 植栽管理講習 一回
- 左官ブロック積講習 一回
- 連合二種 竹炭製造講習 一回
- ② 第一種介護講習 四回
- ホームヘルパー二級 四回
- ③ 第二種技能講習 十二回
- (社) 鳥取市シルバー人材センター

(社) 米子広域シルバー人材センター 十三回

(社) 倉吉市シルバー人材センター 十五回

(社) 境港市シルバー人材センター 七回

(社) 南部広域シルバー人材センター 八回

(社) 智頭町シルバー人材センター 四回

(社) 岩美町シルバー人材センター 七回

(社) 湯梨浜町シルバー人材センター 四回

(社) 琴浦町シルバー人材センター 四回

(社) 北条大栄広域シルバー人材センター 四回

(社) 大山町シルバー人材センター 四回

八頭町シルバー人材センター 二回

江府町シルバー人材センター 四回

日野町シルバー人材センター 二回

日南町シルバー人材センター 三回

三朝町シルバー人材センター

④ 第二種介護講習

(社) 鳥取市シルバー人材センター 六回

(社) 米子広域シルバー人材センター 五回

(社) 倉吉市シルバー人材センター 七回

(社) 境港市シルバー人材センター 二回

(社) 南部広域シルバー人材センター 四回

(社) 智頭町シルバー人材センター 一回

(社) 北条大栄広域シルバー人材センター 一回

日南町シルバー人材センター 一回

⑤ 職場体験講習事業

技能講習修了者及びそれと同等以上の技能や資格を有する高齢者を対象に、事業主団体の事業所において職場体験講習を実施する。

⑥ 職業紹介事業

技能講習を終了した高齢者を主たる対象として、公共職業安定所との共催により合同面接会を実施する。

平成十七年度 事業実施状況

第一回通常理事会開催

平成十七年五月三十日（月）米子市において、平成十七年度第一回通常理事会が開催されました。

審議された議案は次のとおりで、いずれも原案どおり承認されました。

第一号議案

社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会の定款の一部変更について

第二号議案

社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会平成十六年度事業報告及び収支決算報告について

第三号議案

社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会平成十七年度事業計画変更（案）について

第四号議案

社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会平成十七年度収支補正予算書（案）について

なお、協議事項の「社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会会費値上げについて」は、市町村合併等に伴い会費収入が減少し、連合会の事業運営に多大の影響が生じること

第一回通常総会開催

となるため、事務局から値上げについての協議を諮ったが、このことについては、六月に改選される新しい理事で対応していただくことが決められました。

平成十七年六月十五日（水）鳥取市において、平成十七年度第一回通常総会が開催されました。



平成17年度 第1回通常総会



来賓には、鳥取労働局から田村和美職業安定部長、能見克人職業対策課長、小川義昭高齢者対策担当官、鳥取県から山本 誠商工労働部労働雇用課長のご臨席を賜り、連合会の正会員団体から理事長、事務局長等二十七名の出席のもと、川口会長のあいさつ、ご来賓の祝辞に続き、議長に（社）倉吉市シルバー人材センターの野島 完理事長を選出し、議事の審議に入りました。審議された議案は次のとおりで、いずれも原案どおり可決承認さ

れました。
議案の最後には、新役員（理事十名、監事二名）が選任され、新しい役員体制が決定されました。

第一号議案 社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会の定款の一部変更について

第二号議案 社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会平成十六年度事業報告及び収支決算報告について

第三号議案 社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会平成十七年度事業計画変更（案）について

第四号議案 社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会平成十七年度収支補正予算書（案）について

第五号議案 役員の選任について
報告事項 社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会会費値上げについて

第一回連合事務局長会議開催

平成十七年六月十日（金）倉吉市において、平成十七年度第一回鳥取県シルバー人材センター連合の事務局長会議を開催しました。連合の平成十六年度事業の実施状況並びに

平成十七年度の事業計画について協議の後、平成十七年度第一回都道府県連合事務局長会議の伝達、続いて鳥取労働局小川高齢者対策担当官から全国高齢者対策担当官会議の概要について説明があり、最後に連合会の会費問題等について協議し閉会しました。

第一回安全就業推進委員会開催

平成十七年七月十五日（金）倉吉市において、平成十七年度第一回安全就業推進委員会を委員等十五名が出席し開催しました。

平成十七年度の安全就業推進事業実施計画の検討、平成十六年度の県内及び全国の事故発生状況とその分析結果についての説明、また、各委員から自センターの安全就業に係る取り組みを報告し、意見交換を行いました。その後、安全・適正就業パトロール指導員から平成十七年度のパトロール実施状況を説明し、最後に、事故を防止し安全就業に役立つよう、落語で学ぶ「あんぜん指南」のビデオを放映しました。

第一回就業機会開発推進委員会開催

平成十七年七月二十日（水）倉吉市において、平成十七年度第一回就業機会開発推進委員会を開催しました。

推進委員等十六名が出席し、次の議題について協議しました。

- 一 平成十六年度の実施状況について
- 二 各シルバー人材センターの取り組み状況について
- 三 平成十七年度就業機会開発推進事業実施計画について
- 四 指定管理者制度への対応について
- 五 普及啓発促進月間における取り組みについて
- 六 その他



安全就業研修会開催

平成十七年度の安全・適正就業強化月間（七月）の一環として、平成十七年七月二十七日（水）倉吉市において、県下シルバー人材センターの役員・会員等八十一名の参加のもと、平成十七年度安全就業研修会を開催しました。

宇野会長のあいさつに続き、「安全就業標語」の入選者の表彰、（社）広島市シルバー人材センター理事 柄脇常雄氏による「事業理念に立った適正就業について」と題した基調講演、（社）南部広域シルバー人材センター事務局長 田子 貢氏及び鳥取県シルバー人材センター連合会安全・適正就業対策パトロール指導員 椎名 貢氏の事例発表があり、盛会のうちに終了しました。

安全就業標語の表彰作品

『優秀賞』

あわてない 急ぐ気持ちに ひと一呼吸

竹内 智津子

（社）鳥取市シルバー人材センター

『入選』

安全にと 誓う心が 身を守る

住谷 莞子

（社）鳥取市シルバー人材センター

無理と過信が事故招く 安全確認 忘れずに

川内野 節 允

（社）米子広域シルバー人材センター

無災害 シルバーみんなの スローガン

磯田 孝志

（社）倉吉市シルバー人材センター

安全を 交わす笑顔に 事故はなし

鈴木 章夫

（社）倉吉市シルバー人材センター

安全は 厳しく点検 笑顔で作業

天野 展光

（社）南部広域シルバー人材センター

『佳作』

安全は シルバー一人ひとりの 宝物

中原 知之

（社）鳥取市シルバー人材センター

もう終わる 思う心に 事故ひそむ

神谷 寿亮

（社）米子広域シルバー人材センター

運転は ベルトをかけて ケイタイかけない

広瀬 瑞恵

（社）倉吉市シルバー人材センター

安全意識を常に持ち 今日も一日 安全就業

亀尾 一郎

（社）南部広域シルバー人材センター

気をつけて 無理せず・あわてず 安全就業

松本 ひとみ

（社）鳥取県シルバー人材センター連合会



平成16年度シニアワークプログラム事業実施状況

シニアワークプログラム事業は、(社)鳥取県シルバー人材センター連合会が主催する第1種講習と各活動拠点(各シルバー)が主催する第2種講習があります。

平成16年度の第1種講習は技能講習11回、介護講習では3級課程4回、2級課程を2回実施しました。

技能講習第1種

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	申込者	受講者	修了者
観光ガイド養成	倉吉会場	06.16~06.24	7日	19名	19名	14名
パソコン(初級)	米子会場	06.21~06.25	5日	32名	22名	21名
パソコン(中級)	倉吉会場	07.01~07.09	7日	28名	20名	19名
パソコン(初級)	境港会場	08.02~08.06	5日	21名	21名	21名
オフィスクリーニング	鳥取会場	09.13~09.17	5日	34名	20名	19名
植栽管理	米子会場	09.30~10.08	7日	30名	25名	25名
塗装	倉吉会場	10.18~10.22	5日	17名	17名	15名
オフィスクリーニング	米子会場	10.25~10.29	5日	18名	16名	14名
接客サービス	鳥取会場	11.15~11.19	5日	24名	24名	17名
パソコン(中級)	鳥取会場	12.01~12.09	7日	24名	20名	20名
接客サービス	米子会場	01.24~01.28	5日	24名	22名	20名

介護講習第1種「3級課程」

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	申込者	受講者	修了者
訪問介護員養成講座	米子会場	07.07~07.27	10日	35名	20名	20名
訪問介護員養成講座	鳥取会場	07.14~08.03	10日	24名	20名	19名
訪問介護員養成講座	倉吉会場	08.24~09.10	10日	21名	20名	18名
訪問介護員養成講座	境港会場	09.29~10.19	10日	15名	14名	12名

介護講習第1種「2級課程」

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	申込者	受講者	修了者
訪問介護員養成講座	鳥取会場	10.06~11.12	20日	25名	20名	20名
訪問介護員養成講座	米子会場	11.05~12.14	20日	22名	20名	19名



平成17年度シニアワークプログラム事業実施計画

シニアワークプログラム事業は国の委託をうけ、健康で働く意欲旺盛な高齢者に対して、講習会の開催により必要な技能・知識を習得していただき、就労の実現を図る目的で実施します。

技能講習第1種

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	定員	受講者	修了者
パソコン（中級）	倉吉会場	06.21～06.29	7日	20名	20名	18名
観光ガイド養成	智頭会場	07.05～07.13	7日	20名	23名	19名
接客サービス	鳥取会場	07.11～07.15	5日	20名	22名	14名
パソコン（中級）	境港会場	08.01～08.09	7日	20名	20名	19名
左官・ブロック積	鳥取会場	09.01～09.08	6日	20名		
植栽管理	米子会場	09.13～09.22	7日	20名		
塗装	倉吉会場	10.17～10.21	5日	20名		
オフィスクリーニング	米子会場	10.24～10.28	5日	20名		
パソコン（中級）	米子会場	11.14～11.22	7日	20名		
パソコン（中級）	鳥取会場	11.24～12.02	7日	20名		
竹炭製造	倉吉会場	12.05～12.14	7日	20名		
接客サービス	米子会場	01.23～01.27	5日	20名		

介護講習第1種「2級課程」

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	定員	受講者	修了者
訪問介護員養成講座	米子会場	06.28～08.08	24日	20名	20名	19名
訪問介護員養成講座	倉吉会場	08.22～10.03	24日	20名	20名	
訪問介護員養成講座	鳥取会場	09.27～11.09	24日	20名		
訪問介護員養成講座	境港会場	10.18～11.30	24日	20名		



健康シリーズ⑬

中高齢者の呼吸器疾患



山陰労災病院内科部長

松本 行雄

呼吸器疾患は大きく分けて、1)閉塞性肺疾患、2)びまん性肺疾患、3)腫瘍性肺疾患、4)呼吸器感染症に分けられます。この四つの項目のなかで特に中高齢者と閉塞性肺疾患の関連を中心に述べてみたいと思います。

1)閉塞性肺疾患

閉塞性肺疾患には、気管支喘息と慢性閉塞性肺疾患(慢性肺気腫、慢性気管支炎)があります。中高齢者と関係が深いのはこの中で慢性閉塞性肺疾患です。慢性閉塞性肺疾患はChronic Obstructive Lung Disease略してCOPDと呼ばれています(以下COPDと略す)。COPDの原因は、大気汚染なども言われていますが、そのほとんどは喫煙と言われています。気管支喘息との違いは、気管

支喘息は若年で発症することが多く呼吸困難も発症性であるのに対し、COPDは中高齢で発症し呼吸困難も労作性の呼吸困難で、坂道を登ったり、階段を上ったりすると息苦しくなるが、安静にすると楽になるという呼吸困難です。また大きな違いは気管支喘息では可逆性であるのに対し、COPDは非可逆性であり障害を受けた肺は元に戻りません。

COPDの初発症状は咳・痰であり、この時期には呼吸困難は無いのが普通です。喫煙者の方で、咳・痰などの症状があれば医療機関を受診し呼吸機能検査(スパイロメトリー)を受けてください。COPDの方は息を吸うことは出来ても息を吐く力が弱くなっています(閉塞性換気障害)。

COPDの治療ですが、喫煙者の方は禁煙が最善の治療法です。喫煙者でない方あるいは禁煙されている方は、まずは口すぼめ呼吸・腹式呼吸などの呼吸機能訓練を実施し、去痰剤の内服、気管支拡張剤の内服・吸入などがあります。COPDの患者さんは健常な方に比べカゼに罹患した後に細菌感染を合併しやすいと適宜抗菌薬の投与が必要になります。COPDが進行すると空気中の酸素を取り入れる機能が低下し、在宅酸素療法などの酸素吸入が必要になる。このような状態にならないためにも禁煙が一番の予防・治療です。

2)びまん性肺疾患

間質性肺炎(肺線維症)、膠原病肺、薬剤性肺炎、じん肺などがあるが詳細は省く。

3)腫瘍性肺疾患

肺がんは他のがんに比べ予後の悪い疾患である。そのため早期発見が必要であり、市町村が実施している肺がん検診を積極的に受けていただき、異常があった場合は胸部CT検査が出来る施設で精査を受けることが重要です。早期がんの場合は、手術侵襲の少ない胸腔鏡を使用する手術も可能となる。肺がんの場合は症状が出現している場合はかなりがんが進展していて手遅れことが多い。早期発見が非常に重要である。

4)呼吸器感染症

中高齢者の呼吸器感染症は、上気道感染、気管支炎、肺炎、結核などがあります。

中高齢者は糖尿病、心疾患、呼吸器疾患などの基礎疾患を持っておられる方は免疫能が低下しており、呼吸器感染に罹りやすく、かぜやインフルエンザ後に重症化しやすく、このような方は予防としてインフルエンザワクチンや肺炎球菌ワクチンの接種をお勧めする。

シルバー人材センターの紹介

(社)米子広域シルバー人材センター

事務局長 吉田 浩一

平成十七年三月三十一日、米子市が西伯郡淀江町と合併し人口十五万人規模の「米子市」となりました。

四月一日、当センターは旧淀江町シルバー人材センターと統合し、面積百四十平方km、



人口十五万四千人の米子市と日吉津村での広域シルバー人材センターに移行しました。補助事業者の自治体と協議の結果、淀江町に作業場併設で窓口の職員を配置した「連絡所」を設置しています。

そこに至る概略は次のとおりです。平成十五年四月自治体一市一町の法定合併協議会が設置されました。その十月、自治体の各担当課、シルバーの代表者、事務局での淀江町シルバー人材センターとの事業の調整のための連絡調整会議で協議が開催されました。社会福祉協議会を母体に運営される小規模シルバーと公益法人で国の補助事業も対応の法人シルバーの事業規模、内容の違いを議論、点検、整理することが大きな課題となりました。

連絡調整会議を重ねるなかで、平成十六年八月には (1) 統合は編入方式 (2) 名称は(社)米子広域シルバー人材センター (3) 定款は現米子広域シルバーのもの (4) 役員は淀江地区の一名選出 (5) 会費は年額二千円、配分金等は平成十八年度から調整、統一化 (6) 職員の身分、経理・業務等の電算システム、規定・規約等などは現在の米子広域シルバーのものなど協議項目が決まり、相互の組織で周知、整備を図りました。ただ、補助事業での検討、市町の合併に係る考慮から (7) 支所等の設置について「連絡所」と決定したのは平成十七年一月となりました。

現在、統合後の運営のなかで、さらに具体的な就業の適正化、配分金等の調整を図っているところです。

(社)智頭町シルバー人材センター

事務局長 村上 愨一郎

智頭町は、鳥取県の東南部に位置し、東は若桜町、西北は用瀬町、西と南は岡山県に隣接し、鳥取県では四番目の広さを保持しています。

周囲は一千以上の中国山脈の山々が連なり、その山峡を縫って流れる川が智頭で合流し、千代川となって日本海に注いでいます。気候は、日本海側気候に属し、冬に雪が多いのが特徴です。町面積は約二二五平方kmで、うち

九三%を山林が占めています。古くは山陰と山陽を結ぶ宿場町として栄え、大正三年に町制を施行して智頭町となりました。昭和十年山形村、那岐村、土師村と合併し、さらに翌十一年に富沢村、昭和二十九年に山郷村と合併して現在に至っています。

センターの状況と課題

智頭町シルバー人材センターは、平成十年四月一日にシルバー人材センターとして設立し、平成十二年五月二十三日に社団法人智頭町シルバー人材センターとして新しく設立されました。

会員も設立当初二百三十一名から二百五十二名に、契約金額も当初約二千万円から十六年度は約五千四百五万円と年々増加しています。高齢者の経験と技能でそれぞれの仕事に責任をもち、発注者からの信頼を大切に地域に密着した、シルバー人材センターにしていきたいと思えます。

「自主、自立、共働、共助」の基本理念を理解し、自立運営活動の定着化を計り、人材の開拓によって会員の高齢化や、後継者の育成問題の打破に努め、会員の親睦を図る為の研修会、グループ活動の充実を深め、安全就業の高揚のための講習会を実施する等、今後とも会員相互の親睦と楽しい就労をめざして努力していきたいと思えます。

(社)湯梨浜町シルバー人材センター

事務局長 杉井俊介

センターの概要

東郷湖の周囲に位置する羽合町、泊村、東郷町の三町村が平成十六年十月一日に合併し「東郷湖から湧き出る温泉、大地がはぐくむ二十世紀梨、日本海に広がる白い砂浜」という新しい町の特色をイメージして、面積が約七十八平方km、約一万八千人の人口で湯梨浜は誕生しました。それに先立って当センターは平成十六年一月から(社)湯梨浜広域シルバー人材センターとして活動してまいりましたので、九月の臨時総会で名称の変更を計り、十一月に県から承認を頂き、新生(社)湯梨浜町シルバー人材センターとして、会員百三十人から百四十人前後で始動しています。統合後に旧東郷町シルバーを支所に旧羽合町シルバーを本所にしていましたので、職員は会員さんの顔が見えるよう今まで通りのやり方で業務にそれぞれあたっています。旧泊村には、センターが存在しませんでしたので、町の広報やケーブルテレビ等でお知らせをし、会員の募集や就業の開拓にあたっていろいろです。

今後の課題

三町村の合併により、面積や人口が一度に大きくなり、それに伴い会員さんの活動範囲も広がり、今後ますます安全就業の確保が重大な課題となってきました。安全就業の研修会、安全就業パトロール等十分におこない事故の無いよう、会員、職員一丸となって適正就業に務めたいと思っております。又一方互助会等も設け、同好会の充実を計り、意見の交換や親睦の場などに活用してもらったり、会員さん同士の連係を密に出来ることになるよう早急に実現させたいと思っておりますし、ボランティア活動など行って地域とより密着したセンターを目指して行きたいと思っております。



会員の広場

地域社会と共に

栄えるシルバー



（社）南部広域シルバー人材センター
岸本支所

中西 一雄

先日全シ協会報四・五月号を読んで、生き甲斐を求めシルバーの会員となり就業中不幸にして、全国で平成十六年度に三十五名の方が亡くなられ、又長期入院の方が十名との報告書を読んで驚きと家族の方々の悲しみを思う時、一層安全就業に対する取り組みの重要性を感じました。今社会は急速な高齢化を迎えシルバー人材センターも会員数の増加、事業規模の拡大等々により安全教育の細分化の必要性があると思います。それには各職場に於いて就業前の安全教育の徹底を計るべきです。

さて以前何かの統計で、シルバー会員の病気にによる受診率は、他の団体例えば「老人クラブ」等々などと比較して少ないと、それは働くことへの意欲と人と人の和であると思っています。人はそれぞれの性格や過去の実績

に左右され評価されることはシルバーの会員となった日に消滅し新たな出発となり「元〇〇」を口にすれば共に働く仲間達に不快な思いをさせるだけです。自ら積極的に何事にもチャレンジし失敗を恐れずに就業して行きたいと思っています。「自主・自立」「共働・互助」の精神はシルバーの基本理念です。地域社会で自分に出来る仕事の還元はシルバーならではの特性です。会社は利益追求優先です。過去四十数年そんな水になじんだ私ですが今は人様の生活に少しは役立つ仕事が出来るところを誇りに思っています。

注意又注意、安全就業で今日も楽しい一日を。

シルバー人材センターで 経験と技術を活かして



八頭町シルバー人材センター

平尾 積

平成五年九月の郡家町シルバー人材センター発足以来、十二年間ずっと襖障子張替作業でお世話になっております。私は四十年近く、襖障子業者に勤めていましたので、退職してからシルバー人材センターがあると聞き、今

までの経験が活かせるのではないかとさっそく登録しました。センターも始まったばかりなので、最初はなかなか仕事も多くなかったのですが、十二月に入ってから、正月を迎えるのでと何件か注文があり、発注者の方にも「とっても綺麗に張ってあるわ」と喜んで頂き、センターで仕事をすることに生きがいを感じるようになりました。

また、会員の興味ある方に、張替を経験してもらい、張替仲間を増やそうと張替講習会を開催し、張替指導もしました。

そのうちに東部地区の他のセンターからも襖張りの講師に来て下さいと頼まれるようになりました。張替の作業を少しでも習得しようとしてこのセンターの会員さんも一生懸命で、その姿にふれ、さらに仕事への張り合いを感じました。が、一年や二年ではなかなか覚えきれないので、気長にかつ意欲的に取り組んでいただきたいと思います。

とはいうものの、興味のある人はたくさんいますが、作業所が狭いこともあり、後継者がなかなか増えないのが今の課題となっています。元気な限りこの仕事を続け、後継者を育てていくことにも努力していきたいと思っています。

講習に参加して

パソコン講習中級を受講して

(倉吉会場)



倉吉市

永見 裕子

人並みにパソコンを買ったものの、ゲームしたり、インターネットを利用したりの程度で、文書を作ったり、表を作ったり出来たらなーと思いつつ、こまかいところを徹底して聞く人がいない。本を買って見たものの、読んでもわからない。

カタカナの言葉の意味がわからないのだ。ちよつとしたところで行きづまったら、もう前へ進まない、イライラして投げ出していた。はては、ワープロをひっぱり出して、文書をついたりしていた。

わからないところを徹底して聞ける人がいたらなーと思っていた。遠くから、たまに帰ってくる息子に聞いても「いろいろやってみるうちにできるけ」とめんどくさそうに言われる。

退職した直後、パソコン中級受講のチャン

スにめぐまれ、七日間の講習を受けた。久しぶりに緊張した、充実した七日間でした。

今まで投げだしていたことが一つ一つ分つてきて、次々と課題をいただき完成していくのが楽しかった。

先生は、いやな顔しないで何度でも教えて下さった。根気がいったことと思います。

おそるおそる遠慮しながら聞くということがなく、よかった。ありがたかったです。

又、同じ年令の方々と一緒というのもよかったです。

「さつきいたなー、忘れるだけなー」という声に、同じだとホッと安心したり、休憩時間のおしゃべりも楽しかった。

私の隣の席の方は七十五歳だとおっしゃって、定年後、都会から帰ってこられたとか、一日の暮らしのこと、趣味のこと、話したり、私の分らないところにも、ていねいに教えて下さった。ほんとに楽しく充実した七日間でした。

また、すぐ忘れてしまうのでしようけど、私にも出来たんだという自信は大きいものです。

ありがとうございました。得たことを何かに役に立てねば……。

接客サービス講習に参加して

(鳥取会場)



鳥取市

小林 恵美子

この度、接客サービス講習を受講致しました。

今まで接客を仕事として関わった事がなかったため、今後、何か(ボランティア等)に役立てばと思ひ参加致しました。

「電話の使い方」から「接客の基本」「顧客の応対・商品の包装等」講義を受け、そして、実際にデパートへ行き、社員の接客の仕方、店の様子を見学させていただきました。

社員一人一人が店の顔であり又、真心と笑顔の大切さを感じました。

今まで接客される側ばかりでしたので、反対に接客する側になった際、お客様に対する言葉使い(クッション言葉の使用を心掛ける)、態度等の大切さを痛感致しました。

基本マナー以外に「鳥取の歴史」、講話「私の歩んだ道」として、いろいろなお話しを聞き、物の見方、人との出会い、いたわり等を学びました。

いろいろな知識を持ち、接客に役立たせる事も必要。

講習内容も充実しており、又受講者も人生経験豊富な方達で、時にはどちらが講師かなというような場面もあり、笑いあいの講習でした。

今回の講習会の実力を発揮できる日を楽しみにしております！
ありがとうございました。

観光ガイド養成講習会に

参加して

(智頭会場)



智頭町

堰 八良子

「ヒヤーこんなにーこりゃあ無理だー。」講習の献立表を手にした時、思わず叫んでしまった。七日間びっしり。山のようなご馳走を目にしただけで胸につかえるような満腹感。その中に、朝からの現地研修という大皿盛が二つもあるではないか！ とてもじゃないが食べ切れないとは思いつつ、千載一遇のチャンスかも知れないと囁く声につられて、「観光ガイド養成講習会」の一員となった。

初日は開講式に続いて、智頭町及び近郊の歴史をたっぷり受講した。

三日目の智頭往来と智頭宿についても、名

立たるわが町の郷土史家村尾康礼先生の名調子に酔いながら、これ程詳しく教わってもどれだけ身につくものかと不安だった。

四日目と六日目は、修学旅行のような現地研修に胸が弾んだ。バスガイドさんによるガイド要領の実際を学んだ。二日目のガイドの心得を教わったことと重ねながら、頭の中では分かっていていた。が、さすがはプロノと脱帽したのは、◎いつも明るくはきはきと、◎お客様の身になって、◎説明のタイミング、◎案内資料の丸暗記でなく自分の言葉で、◎土地の言葉もまじえて……といったことが、しぜんににじみ出ていることであった。

町内の史跡はガイドブックで知ってるだけで、現場に接して初めて何も分かっていない自分に気付かされた。

また、県観光課によって、県下の情報も得られ大いに参考となった。その中で、我が町の観光推進の問題点をみつめたり、その対策について頭をひねってみたりした。

七日間の豪華メニューは、今にして思えばどの皿もそれぞれ大切な栄養と味わいがあり、これだけのフルコースに出会えたのは幸運という他はない。連合会と智頭町シルバー人材センターによってお膳立てをして頂き、沢山の方のお世話になったことに深く感謝している。



まだ十分に消化してはいないが、養成されたエネルギーを、なかまと共に僅かなりとも世のため人のために使い、また自分の幸せにも役立てたいと意気込んでいる。
ほんとうにありがとうございました。

介護講習を終えて



米子市

清水久代

(米子会場)

三級ヘルパーの資格取得から6年経過、二級ヘルパー講習の応募があると聞き挑戦してみたいと思い受講出来る事となりました。

医療に関しては身近な問題が多く、講義内容は判りやすかった様に思いました。

右から左に通り過ぎていく頭に鞭打ちながら、脳内の海馬が唯一、使えば使うほど細胞が増えるという聞き、少しでもそうありたいという毎日でした。

福祉に関しては、サービスに従事する者は、受ける側がどの様なサービスを求めておられるかを的確に把握し、信頼関係を大切にしながら行うことが大事だと思います。

講義、実技、実習の場であった「ゆうつぴあ」は医療・福祉施設の総てが充実しており、施設の実習では学ぶ所が沢山あり、人と人のコミュニケーションの難しさを痛切に感じました。

訪問介護では、心待ちにしておられる利用者の方達と限られた時間内で援助しながらの話しかけは大変だと思いました。

介護にあたっては講師の先生に教えて頂いた、

- あ 愛してる
- う うとんじず
- お おおらかに
- き 気を使い
- け けんかせず
- さ さりげなく
- す 素直に
- そ 損得抜きに介護する
- い いじめないで
- え 笑顔で
- か 寛大で
- く くじけずに
- こ 行動に移す
- し 自然体で
- せ 誠実に

この言葉が印象深く心に残りました。

厳しい日々ではありましたが私なりに充実した毎日でした。

これを機に地域で何かお役に立てれば幸いです。

またこの講習を受けた十八人の皆さんと共に楽しく終える事ができましたこともうれしく思います。そして二十三日間ご協力戴いた皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



新役員決まる

去る平成17年6月15日開催の通常総会において、新しい役員が選任されました。(任期2年)

(社)鳥取県シルバー人材センター連合会新理事及び新監事

役職名	氏名	所 属
会 長	宇 野 治 巳	(社)米子広域シルバー人材センター 理事長
副 会 長	歳 岡 輝 巳	(社)鳥取市シルバー人材センター 理事長
副 会 長	野 島 完	(社)倉吉市シルバー人材センター 理事長
常務理事	仲 村 一 男	(社)鳥取県シルバー人材センター連合会 事務局長
理 事	足 立 郁 馬	(社)境港市シルバー人材センター 理事長
理 事	中 川 正 昭	(社)南部広域シルバー人材センター 理事長
理 事	石 谷 文 一	(社)智頭町シルバー人材センター 理事長
理 事	磯 江 末 夫	(社)湯梨浜町シルバー人材センター 理事長
理 事	村 田 敏 雄	八頭町シルバー人材センター 理事長
理 事	水 根 富 士 雄	鳥取県商工会連合会 専務理事
監 事	谷 口 幹 彦	(社)岩美町シルバー人材センター 理事長
監 事	林 原 彦 一	(社)大山町シルバー人材センター 理事長

鳥取県内のシルバー人材センター設置状況

(平成17年8月1日現在)



(社)鳥取県シルバー人材センター連合会正会員

(平成17年8月1日現在)

名 称	〒	所 在 地	電 話	FAX	代表者
(社)鳥取市シルバー人材センター	680-0823	鳥取市幸町73	0857-22-0050	0857-22-0051	歳岡輝巳
(社)米子広域シルバー人材センター	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823	宇野治巳
(社)倉吉市シルバー人材センター	682-0816	倉吉市駄経寺町2-8-1	0858-22-0870	0858-23-6101	野島 完
(社)境港市シルバー人材センター	684-0034	境港市昭和町11-17	0859-47-4540	0859-47-4541	足立郁馬
(社)南部広域シルバー人材センター	683-0351	西伯郡南部町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330	中川正昭
(社)智頭町シルバー人材センター	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366	石谷文一
(社)岩美町シルバー人材センター	681-0003	岩美郡岩美町浦富1041-1	0857-72-2511	0857-72-2512	谷口幹彦
(社)湯梨浜町シルバー人材センター	682-0712	東伯郡湯梨浜町上浅津123-2	0858-35-4130	0858-35-4130	磯江末夫
(社)琴浦町シルバー人材センター	689-2352	東伯郡琴浦町浦安152-3	0858-52-1001	0858-52-1001	足立慎夫
(社)北条大栄広域シルバー人材センター	689-2103	東伯郡北条町田井46-2	0858-36-6220	0858-36-6227	岸田忠良
(社)大山町シルバー人材センター	689-3111	西伯郡大山町赤坂764	0858-49-3012	0858-49-3013	林原彦一
八頭町シルバー人材センター	680-0463	八頭郡八頭町宮谷254-1	0858-72-0021	0858-72-2793	村田敏雄
江府町シルバー人材センター	689-4401	日野郡江府町江尾502	0859-75-3211	0859-75-3211	宇田川 潔
日野町シルバー人材センター	689-5131	日野郡日野町黒坂1247-1	0859-74-0870	0859-74-0338	牧 智也
日南町シルバー人材センター	689-5211	日野郡日南町生山357	0859-82-0223	0859-82-0223	大下 勇
三朝町シルバー人材センター	682-0121	東伯郡三朝町大瀬999-2	0858-43-1111	0858-43-0647	西村武津美

あとがき

今回も、関係各位のご協力のおかげで第十三号が発行できました。ご寄稿いただいた皆様に心から御礼申し上げますとともに、関係者の皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。

少子化・高齢化・人口減少が、社会全体に大きな影響を与えます。

このようなとき、国や地域の活力を継続的に維持していくためには、豊富な知識・経験を持ち、働く意欲のある元気な高齢者の力を活用することが大事です。

会員の皆様には健康に留意され、地域を支えていく気概と、地域社会に貢献する喜びを感じながら、シルバー事業の発展に持てる力を発揮していただきますことを期待します。

会報 鳥 取 第13号
平成17年8月1日 発行

発 行：社団法人 鳥取県シルバー
人材センター連合会
所在地：〒683-0812
鳥取県米子市角盤町1丁目76番地
電 話：0859-37-2531
FAX：0859-37-2537

印 刷：(有)ニシキ印刷
鳥取県米子市灘町3-150
電 話：0859-32-2250